

質問事項に関する回答書

(件名) 磐越自動車道 龍ヶ嶽トンネル工事

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
1	4月9日	設計図面	鬼光頭川橋 構造物掘削		鬼光頭川橋の構造物掘削の掘削線及びまたは土砂及び軟岩の種別、数量をご教授願います。	構造物掘削における掘削線は設計図(鬼光頭川橋下部工編)4.40~44/70に示すとおりです。土砂区分は土砂Ⅰ及び軟岩とお考えください。数量は単価表及び数量明細表に基づき、お考えください。
2	4月9日	設計図面	コンクリート ブロック積工		数量計算書のブロック積工の中に道路掘削がありますが、設計図面にはございません。これは設計図面を正と考えてよろしいかご教授願います。	ご認識のとおりです。
3	4月9日	設計図面	工事用作業 構台計画		作業構台の覆工板の面積や上下部工・基礎工の重量、基礎くい打設における土砂区分についてご教授願います。	工事用作業構台の覆工板面積及び上下部工・基礎工の重量は、設計図書に基づきお考えください。基礎杭の施工における土砂区分は土砂Ⅰ及び軟岩とお考えください。
4	4月9日	設計図面	鬼光頭川橋A1橋台 土留工構造図		断面図を見ると山側の土留め杭とフーチングの隙間が50cm程度と狭く、足場工の幅も確保できないため、埋設型枠を使用する計画でよろしいでしょうか。ご教授願います。	貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。
5	4月9日	特記仕様書	工事用仮橋撤去工		仮橋のスクラップ処理について、NEXCOで予定している施設がございましたら、ご教授願います。	入札公告1「質問に関する注意事項」に記載のとおり、積算に関する質問は受け付けておりませんので、貴社の施工計画に基づき必要と思われる費用を計上してください。
6	4月9日	特記仕様書	工事用道路及び 本線外盛土場の 維持・補修		特記仕様書14-4工事用道路及び本線外盛土場の維持・補修に「本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す番号1~6の道路及び本特記仕様書6-1「本線外盛土場」について散水・清掃等の維持は受注者が行うもの」とありますが、割掛対象表参考内訳書(工事用道路維持補修費)では清掃距離は3.12kmとなっており、1~6の道路延長=①6320m+②500m+③200m+④6360m+⑤261m+112m+⑥378m+145m=14276mと数量が合いませんが、特記仕様書に示す道路(14.276km)を清掃すると考えてよろしいでしょうか。ご教授願います。	工事用道路の清掃距離は、割掛対象表参考内訳書に示すとおりです。 なお、特記仕様書14-1及び14-4は以下のとおりです。 14-1 番号1 町道野沢安座線 延長2,460m 番号2 町道牧塩喰線 延長440m 番号3 農道塩喰線 延長220m 14-4(1) 本特記仕様書14-1「工事用道路の指定」に示す番号1~3の道路及び本特記仕様書6-1「本線外盛土場」について散水・清掃等の維持は受注者が行うものとし、これに要する費用については関連する単価表の項目に含むものとし、別途支払は行わないものとする。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
7	4月9日	特記仕様書	ロックボルト工		全面定着型(普通セメントモルタル)の仕様がございましたら、ご教授願います。	施工管理要領の規定を満足する材料をご使用ください。
8	4月9日	特記仕様書	ずり処理工		坑外仮置場①及び②の土シートを現地盤面に敷くことになっていますが、坑外仮置場②は資材置場兼用となっているため、ずり置場の面積を提示願います。	貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
9	4月9日	特記仕様書	調査ボーリング		調査ボーリングは外注が義務付けられていますので別途諸経費が必要になりますが、単価項目に諸経費がございませんので、関連する各単価項目に割掛けて計上することよろしいでしょうか。ご教授願います。	特記仕様書24-37(11)に示すとおりです。
10	4月9日	割掛項目	吹付設備上屋費・汚濁水処理設備上屋費		材料や設計基準(雪荷重)等の仕様の有無について、ご教授願います。	入札公告1「質問に関する注意事項」に記載のとおり、割掛対象表参考内訳書に関する質問は受け付けておりません。貴社の施工計画に基づき、必要と思われる費用を計上してください。
11	4月9日	割掛項目	車両泥落し装置費		割掛対象表参考内訳書に設置期間が工期(85ヶ月)を上回る箇所がございますが、土運搬等に必要な期間を計上することよろしいでしょうか。ご教授願います。	特記仕様書14-4に示すとおり、土運搬等に必要な期間を計上してください。 なお、割掛対象表参考内訳書に示す泥落とし装置の設置期間は以下のとおりです。 1.安座川工事用道路始点 51.6ヵ月 2.本線外盛土場① 4.2ヵ月 3.本線外盛土場② 8.9ヵ月 4.本線外盛土場④ 7.4ヵ月 5.本線外盛土場⑤ 28.8ヵ月 6.本線外盛土場⑥ 2.0ヵ月 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。
12	4月9日				当該工事は「福島県耶麻郡西会津町」地域の工事であるため、「復興係数補正」は「福島県(あり)」でよろしいでしょうか。ご教示願います。	復興係数補正は適用しません。
13	4月9日	特記仕様書	31	24-4	特記仕様書P31「24-4構造物掘削 特殊部A」に「仮設材について、上表に示す調達地域から…」とありますが、「上表」が不明です。想定されている調達地域をご教示願います。	特記仕様書24-4に示す構造物掘削特殊部Aの作業内容から「上表に示す調達地域から」という文言は削除してお考え下さい。
14	4月9日	特記仕様書	44	24-17	特記仕様書P44「24-17ずり処理工」には、「インバート埋戻しに使用するずり処理を行う」項目が記されていない様に思われます。「インバート埋戻し」には「購入材」を使用すると判断してよろしいでしょうか。ご教示願います。	単価表の番号134に示すとおりです。なお、埋戻し材料は購入材とお考えください。
15	4月9日	特記仕様書	44	24-17	特記仕様書P44「24-17ずり処理工」の各単価項目に記されている「トンネル掘削により生じたずり」とは既存避難坑の撤去した支保材料(ロックボルト・鋼アーチ支保工・吹付コンクリート・覆工コンクリート等)も含まれると考えればよろしいでしょうか。もしくは既存支保材料は含まれないものと考えればよろしいでしょうか。ご教示願います。	【訂正】 既存避難坑の撤去した支保材料のうち、ロックボルト・鋼アーチ支保工の坑外仮置き場までの運搬はずり処理撤去工に含まれます。吹付コンクリート・覆工コンクリート等は特記仕様書24-22に示すとおりです。
16	4月9日	特記仕様書	47	24-22	特記仕様書P47「24-22構造物等取壊し工」のTypeAの支払い項目には「取壊し、取壊し場所(切羽)での積込・運搬(切羽から処分場所まで)・処分費用」が含まれていると考えてよろしいでしょうか。また、掘削ずりと既存支保材のコンクリート(コンクリート構造物取壊し(TypeA)の対象項目)の選別はどの単価項目に含まれているでしょうか。ご教示願います。	「取壊し、取壊し場所(切羽)での積込・運搬(切羽から処分場所まで)・処分費用」及び掘削ずりと既存支保材のコンクリートの選別は、コンクリート構造物取壊し(TypeA)の単価項目に含まれます。

番号	日付	資料の種類	ページ	章の番号等	質問事項	回答
17	4月9日				トンネル掘削のサイクルタイムには、「コンクリート構造物取壊し(TypeA)」「コンクリート構造物取壊し(TypeB)」「撤去工」の既存支保材料の撤去及び鏡吹付コンクリートが加味されていると考えてよろしいでしょうか。ご教示をお願いします。	「コンクリート構造物取壊し(TypeA)」「コンクリート構造物取壊し(TypeB)」「撤去工」はトンネル掘削のサイクルタイムには含まれておりません。鏡吹付コンクリートはサイクルタイムに含まれております。
18	4月9日	特記仕様書	50	24-26	特記仕様書P50「24-26ずり選別工」の(3)施工で、「重機を使用した振るい分け等の作業…」とありますが、振るい分け処理率(振るい分け処理後量÷振るい分け処理前量)*100)は何パーセント程度を想定しておりますか。ご教示をお願いします。	貴社の施工計画に基づきお考えください。
19	4月9日	特記仕様書	50	24-26	特記仕様書P50「24-26ずり選別工」では「鋼材及び混合廃棄物(安定型)」の選別であって、吹付コンクリート・覆工コンクリートは含まれないと考えてよろしいでしょうか。ご教示をお願いします。また、含まれない場合は吹付コンクリートと覆工コンクリートの選別はどの単価項目に含まれるかご教示をお願いします。	特記仕様書24-26に示すずり選別工に吹付コンクリート・覆工コンクリートは含まれません。吹付コンクリートと覆工コンクリートの選別は、本回答書(番号16)をご確認ください。
20	4月9日	金抜設計書 設計図	12頁 トンネル編126/191、 132~135/191	番号135~138	金抜設計書135~138の計測工Bの数量は3箇所及び3本となっています。設計図の表においては各種全て3箇所となっています。 ・計測工Bの施工位置(STA)をご教示または表記をお願いします。 ・設計図132/191以降の図より4断面あり、1断面あたり5箇所程の計器設置と思われませんが、設計書数量単位は3箇所と3本です。ご確認をお願いします。	計測工Bの施工位置は設計図(龍ヶ嶽トンネル編)125/191に示すとおりです。なお、設計図(龍ヶ嶽トンネル編)132,134,135/191の3断面が正となり、計測器の設置数量は1断面あたり5箇所又は5本となります。 上記については、後日、交付図書を訂正いたします。